

しあわせ

2025(令和7)年度 部落差別をはじめすべての差別をなくす
「人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ」

12月6日、八代市公民館にて、「2025(令和7)年度 部落差別をはじめすべての差別をなくす人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ」を開催しました。このイベントは、部落差別をはじめすべての差別をなくす八代地域児童生徒実行委員会、八代地域人権教育のための推進会議、八代市教育委員会、氷川町(組合)教育委員会の主催により、八代地域一体となった連帯、協働をめざし、人権同和教育・啓発の活動を大きく広げるために取り組んでいる事業です。
当日は、参加団体による取組発表やステージ発表がありました。

人権作品表彰式

12月13日、八代市庁舎内市民交流エリア多目的ホールにて「人権作品表彰式」を開催しました。今年度は5526点の応募があり、その中から優秀賞に選ばれた52名が参加しました。
式典では、小野市長が一人ひとりに賞状を手渡し、受賞者の努力と感性を称えました。受賞者の表情には誇らしさと喜びがあふれ、会場全体が温かな拍手に包まれました。表彰後には、受賞者全員で集合写真を撮影。人権尊重の思いを共有する場となり、参加者にとって忘れられない一日となりました。



差別のない
誰もがいきいきと
暮らせるまちづくり



八代市人権問題
啓発推進協議会
会長(八代市長)
小野 泰輔

日頃より、あらゆる差別のない「人権尊重のまちづくり」を進めるための人権教育や人権啓発活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

啓発活動の一環として実施している書道、ポスター等の人権作品の募集では、今年度は、昨年を上回る五千五百二十六点の作品をご応募いただきました。作品は本誌にも掲載しているほか、市内の小・中・支援学校や公共施設で展示され、市民の皆様が人権を身近な問題として考えるきっかけとなりました。応募いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

さて、人権は私たちの社会における基本的な価値であり、私たち一人ひとりがその意義を常に意識し、日々の行動に生かしていくことが求められます。

近年、SNSなどにおける個人への誹謗中傷が深刻な社会問題となり、二〇二五年四月には「情報流通プラットフォーム対処法」が施行されました。こうした流れを受け、本市でもインターネット上の差別や偏見をなくすための啓発活動をさらに広げ、誰もが安心して、いきいきと暮らせる差別のない明るい社会を目指して、様々な人権課題に焦点を当てた取組を展開してまいります。

今後、すべての人の声に耳を傾ける市政を進めながら、いじめや差別のない明るい八代市を目指してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

毎月11日は「人権を確かめあう日」です

家庭や地域、職場や学校で、身近な人権問題について、みなさんで話し合いませんか！



日本では、近年、さまざまな差別に対する法律が施行されています。人権問題について、一緒に考え、差別や偏見のない明るい社会を作りましょう。

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 (障害者差別解消法) ※平成28年4月1日施行

障害者差別解消法は、障がい者差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会をつくることを目的としており、国や地方公共団体などの行政機関と民間事業者に対して、「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」を義務付けています。

また、障がいのある人も含めた国民一人ひとりが、障がいを理由とする差別の解消の推進に努めて、差別や偏見のない明るい社会を築きましょう。

詳しくは内閣府のホームページ <https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/sabekai.html>

本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律 (ヘイトスピーチ解消法) ※平成28年6月3日施行

近年、特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動が、いわゆるヘイトスピーチであるとして社会的関心を集めています。こうした言動は、人々に不安感や嫌悪感を与えるだけでなく、人としての尊厳を傷つけたり、差別意識を生じさせることになりかねません。

外国人の方々と交流する機会は今後ますます増加することが予想されます。民族や国籍等の違いを超え、互いの人権を尊重しあう社会を共に築きましょう。

詳しくは法務省のホームページ https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00108.html

部落差別の解消の推進に関する法律 (部落差別解消推進法) ※平成28年12月16日施行

この法律は、全ての国民が等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるものであるとの理念にのっとり、部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会の実現を目的としています。

残念ながら、今なお、こうした人々に対する差別発言、差別待遇等の事案のほか、インターネット上で差別を助長するような内容の書込みがなされるといった事案などが発生しています。

部落差別についての誤った知識や偏見は、差別意識を助長する原因になります。

私たち一人ひとりが力を合わせて、差別や偏見のない明るい社会を築きましょう。

詳しくは法務省ホームページ https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00127.html

アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律 (アイヌ民族支援法) ※令和元年5月24日施行

この法律は、北海道の先住民族であるアイヌの人々が民族としての誇りを持って生活し、全ての国民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生することを目的としています。

国内でも先住民族がいることを理解し、お互いの人権を尊重しあう社会を共に築きましょう。

書道の部

ともだち
八代小 二年 すぎの あやか

八代小学校2年 杉野 綾香

いのち
かみ小 一ねん くぼ はるな

鏡小学校1年 久保 陽菜

大友切
鏡五年 水本 結梨

鏡小学校5年 水本 結梨

友愛
松高四年 吉尾 茉莉

松高小学校4年 吉尾 茉莉

人権尊重
千丁六年 西条 美香

千丁小学校6年 西条 美香

生きる力
鏡三年 坂田 勇と

鏡小学校3年 坂田 勇翔

敬愛
一中二年 中村 梨子

第一中学校2年 中村 梨子

相互理解
八代中一年 三島 佳子

八代中学校1年 三島 佳子

理想の世界
八代白百合一年 坂本 理央

八代白百合学園高等学校1年 坂本 理央

友情
山本 徳子

一般 山本 徳子

慈愛
一中三年 松永 結愛

第一中学校3年 松永 結愛



標語の部

だいじょうぶ

いつでもみんなで たすけあい

八千把小学校1年 緒方 稀純

「やめようね」

その言が すくいの手

太田郷小学校2年 松村 凌雅

困ってる

友だちいたら 助けよう

龍峯小学校3年 瀧本 悠真

やめようね

自分がされて いやなこと

龍峯小学校4年 定永 和忍

やめようね

見ているだけの 自分をさ

鏡小学校5年 河村 ゆうり

言う前に

考える事 すごく大事

龍峯小学校6年 浦川 栞

ゆるせない

軽い気持ちで やるいじめ

第四中学校1年 西田 直生

失敗も

笑顔で支える 仲間がいる

八代中学校2年 田川 あかり

いじめはしない

させない 見逃さない

坂本中学校3年 藤本 心

その言葉

相手の気持ち 考えた?

八代清流高等学校1年 平 莉緒

気をつけて

いじりといじめは 紙重

八代高等学校2年 上村 桜花

もう二度と

書いた言葉は 取り消せない

八代工業高等学校3年 小瀧 花音

メッセージの部

文政小学校2年 大堂 智恵

せんそうは、こわいです。人と人がころしあつからこわいです。すごくしょうらいのことですがわたしが大きくなって、子どもがいるときせんそうがありませんようにしたいです。なぜかというところ、げるとき、まいごになったり、がれきの下じきになったり、子どもがこわい思いをしてほしくないからです。

せんそうの人がかんけいあるのに、ちがうふ通のわかい男の人もなまにされて行きたくないのに行つてがいこくの人とたかつてしまつのは、いやです。

龍峯小学校6年 中居 愛来

前を見て。世界は広いの。そしてきつと、安心の場は見つかる。「逃げるが勝ち」よ。

千丁中学校1年 原田 結愛

私が人権で大切にしたいことは、2つあります。1つ目は人の好みなどをしっかりと尊重してあげることです。人はみんな違ってみないのが面白いところなんです。ですから、人の個性を大切にしたい。ろんな人と接していきたいです。2つ目は、

みんな仲良く楽しく笑い合える環境を作っていくことです。学校になかなか来れない友だちがいます。温かく迎え入れる環境を作りたいです。卒業するまでには、全員がフラスにそろつて卒業したいなと思います。

八代中学校2年 栞木 悠親

あなたのいじり、もしかしたらいじめかもしれない。いじめといじりとは大きな違いはなくて、ただ相手の気持ちを傷つけているか、いないかの違いなんです。だから、あなたにとってはいじりでも相手からするといじめとなつてしまふ可能性があります。もう二度問います。あなたのいじり、本当にいじりですか。

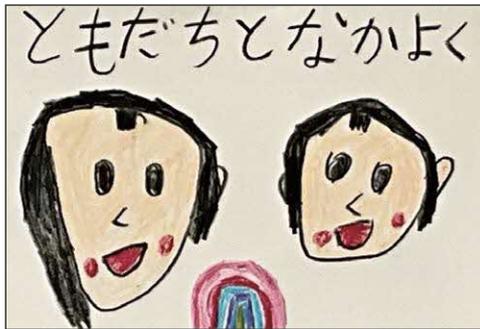
八代中学校3年 刈谷 颯希

じぶんの人生は「じぶん」が主人公です。子どもうちではできることが少ないけれど夢に向かってあきらめずに頑張り続けられればきつと夢は叶います。人に決められた人生ではなく自分で決めた人生を生きてみませんか？今は自分の事を認めてくれる人がいなくてもきつと自分を認めてくれる人が現れます。自分をもっと大事にしていきましよう！

絵はがきの部



有佐小学校3年 平本 晃誠



鏡小学校2年 松岡 咲舞



八千把小学校1年 田辺 ほのか



太田郷小学校6年 井口 美穂



太田郷小学校5年 西坂 嬉乃



太田郷小学校4年 村上 明日菜



一般 渡辺 久美



八代農業高等学校泉分校1年 古庄 桃花



千丁中学校3年 侯嶋 紅里



代陽小学校2年 桑原 結



八千把小学校4年 安藤 佳奈美



八代支援学校小学部6年のみなさん

ポスター・グループ
作品の部



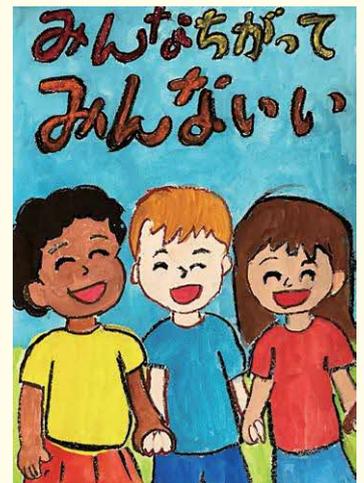
日奈久小学校1年 木元 朱希



松高小学校3年 森崎 桜



太田郷小学校6年 松永 若葉



八千把小学校5年 濱 奈葉



鏡中学校3年 岩永 樹菜



鏡中学校2年 西 凜子



第七中学校1年 田中 悠那